

題材名『 え？名前で絵 』

( 時間)

【題材について】 ※ PR 文「名前の文字をもとに発想を広げ、形や色をくふうして絵に表す。」

○ 自分の名前の文字、そこから思い浮かぶことをもとに発想を広げたり、形や色を工夫して、多様な

材料を生かして絵に表すこと、を題材とする

【本時のめあて】 ◎ (図画工作)形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

◎ (人間形成) 自分や友人の作品について、見合うことを楽しみ、よさや面白さをとら

えようとする

本時の展開

学 習 活 動

教 師 の 支 援 (☆個別支援アイテム)

1 鑑賞「文字アートクイズ」

いくつかの作品を見て、どんな文字が表現されているか考える。

2 題材と出会う。

【題材名】 え？名前で絵 ～マイネーム アーティストになる～

(自分の名前の文字を使って、1つの絵をつくりだそう)

【確認事項】

- ・デザインは自由 (漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字・イニシャルなど、名前を表せる文字なら OK)
- ・表現方法も自由 (多様な用具・材料を使って、画用紙にかく・はる)
- ・制作時間は 4 時間 (デザインを考える 2 時間+絵に表す 2 時間)

3 文字からイメージをふくらませ、表現方法を考える。

【本時の目標】

- ・文字からイメージを広げ、形や色を工夫してデザインを考えよう。
- ・多様な材料や用具から、自分が表したい方法を選ぼう。デザインメモに、イメージ図や主な材料、用具をかく。

4 表現方法を自分なりに工夫して、絵に表す

【本時の目標】

- ・表したいイメージに合わせて、材料や用具を工夫して、絵に表そう。・材料に合わせて、用具を正しく使おう。

・教科書などの作品を参考に見せ、文字を多様に変化させてアートにするイメージが持てるようにする。

・アーティスト=芸術家という意味を知らせ、表現意欲を高める。

・デザインも表現方法も自分の思うままにしてよいことを伝え、多様な表現ができるようにする。

・図工室にある材料や用具を自由に見られるようにし、自分の表したいことが自由に決められるようにする。

・学校にない材料は、自分で持ってきてよいことを伝える。

[成果と課題]・・・ヒット題材にするためには？

- ・子ども達も楽しそうに活動していた。表現方法を自由にし、図工準備室から色々な材料が使えたのが良かった。

